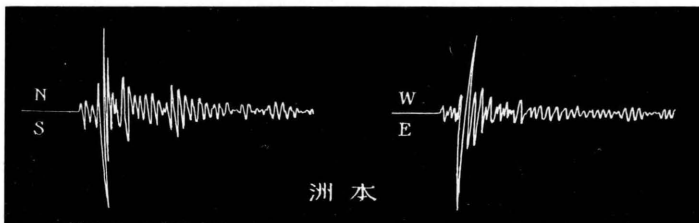
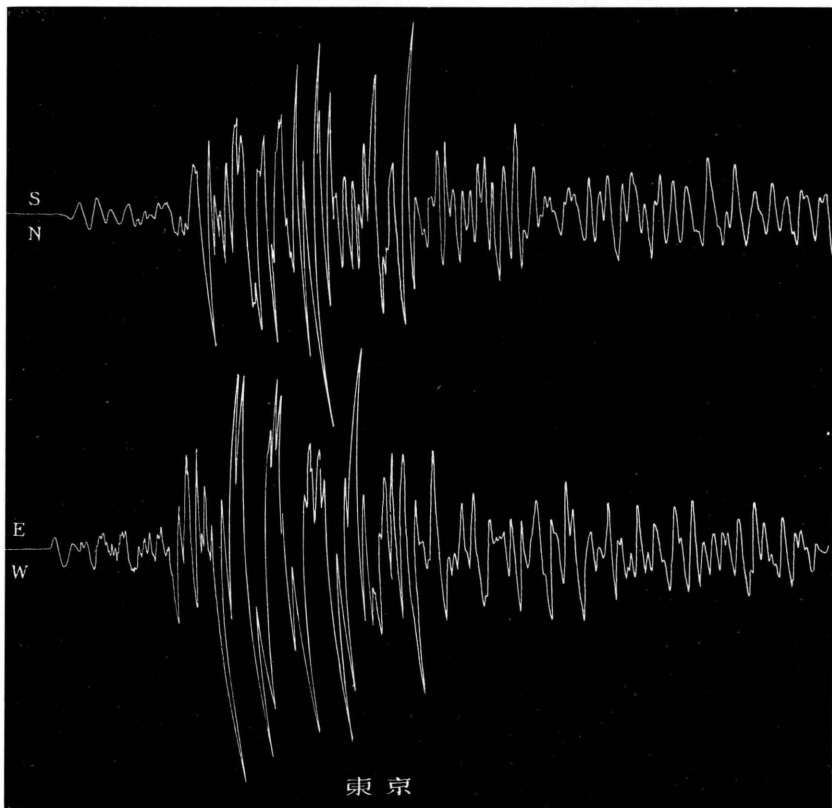


強震計. V ; 2. (×0.6)



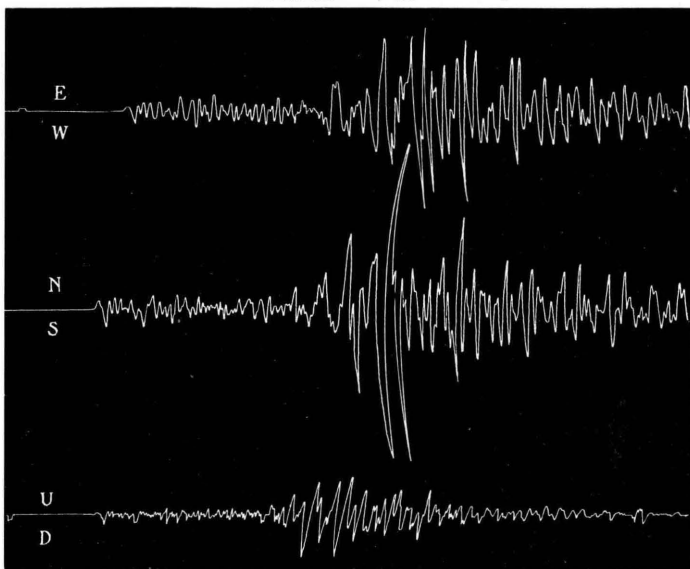
強震計. V ; 2. (×0.6)



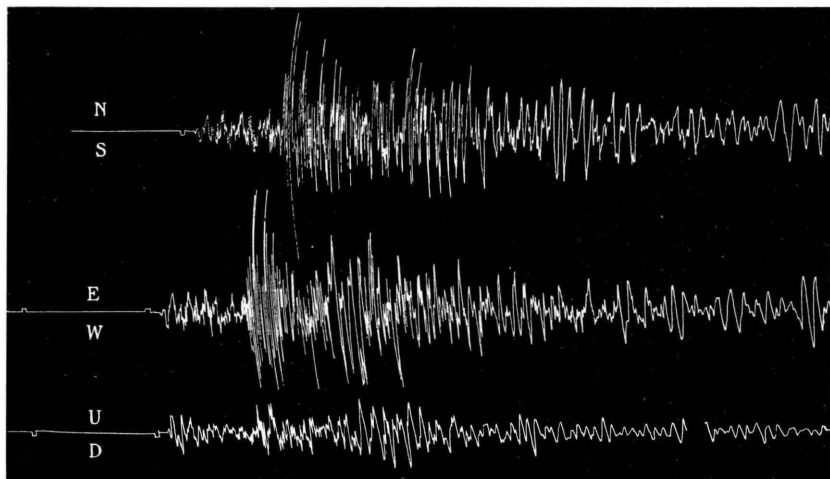
地動計. V ; 12. (×0.6)

昭和 13 年 1 月 12 日 和歌山縣田邊灣沖地震記象 (其の 2)

ワイーヘルト式地震計. V; 約 70. (×0.6)



仙 臺



宮 崎



盛 岡



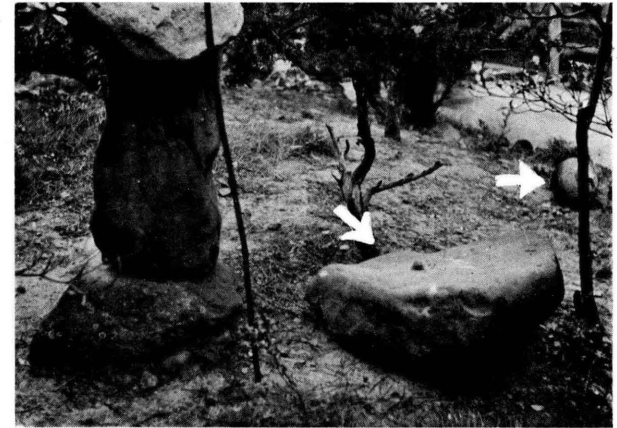
御坊町日高中學校博物室の壁の龜裂



同校教室煉瓦壁とコンクリートの柱との間の龜裂



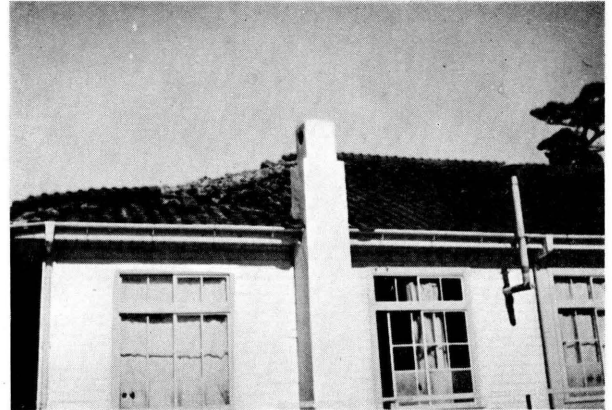
同校内植木鉢の落下



同校内石燈籠の落下 (矢印を付せるが落下物)



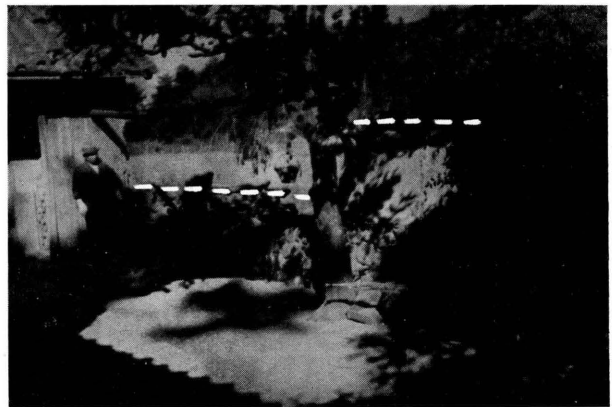
御坊驛東方の道路の龜裂



白濱溫泉瀬戸臨海實驗所實驗室の被害 (中央の角柱はドラフト)



白濱溫泉本覺寺境内墓石の廻轉 (點線で示す角度丈け廻轉)



本覺寺附近土塚の崩壞 (南北方向)
右側の點線が残つた塚, 左側のが崩壞した部分

(三宅, 山本報告附圖)

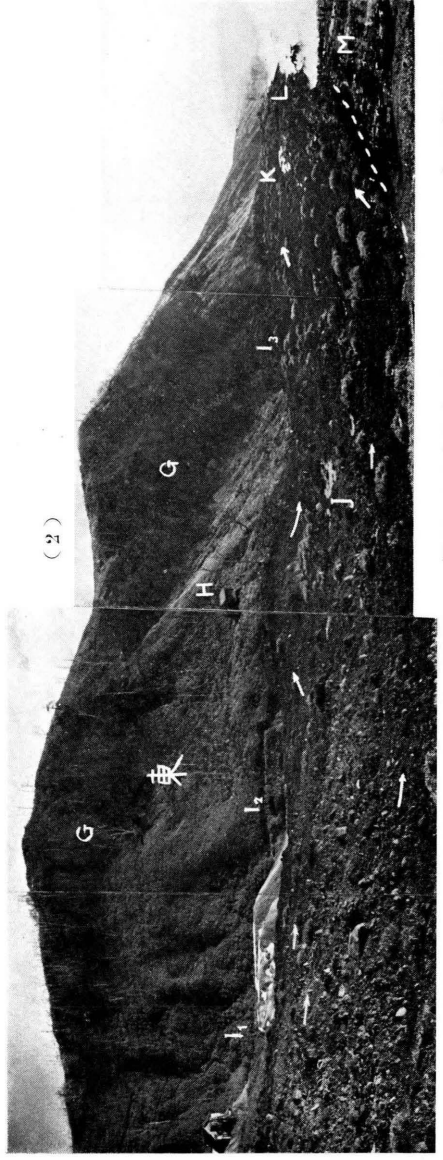
昭和12年
11月11日

群馬縣小串鑛山崩寫眞

(其の1)



(1)



(2)

(説明は本文末尾参照)

(久保報告附圖)

昭和 12 年
11 月 11 日

群馬縣小串鑛山山崩寫眞

(其の 2)

(3)



地點 III より北方に向けて崩土の一部を撮つたもの

(4)



地點 V にて北方に向けて撮る。崩壊土砂流南端に相當す。右方數人の人の居る北上手が寫眞 (1) の L に相當し、崩土は右端前方の峽谷より流下した。この附近迄も社宅の建築木材、日用品等が押流されてゐる。N は工場地帯南方の鑛層。

(久保報告附圖)

昭和13年5月磐梯山爆裂口下の山崩 (其の1)



(1) 磐梯山破裂口の現状

(5月22日撮影)



(2) 最上端崩壊口 (5月16日)



(3の1) 最上端崩壊口より約250米下方
(5月22日)



(3の2) 流出路の一部 (5月16日)

(柳谷, 小沼, 高野報告附圖)



(4) 流出路の中途より發現せる第2崩壊口 (5月22日)



(5の1) 流出路の一部 (5月22日)



(5の2) 流出路の一部及び最初の崩壊
發現點 (5月22日)



(6の1)



(6の2)

平地に入りて擴大沈積したる土砂流 (5月22日)

(柳谷, 小沼, 高野報告附圖)



(7) 流出土砂の沈積せる川上温泉地内の上方
(5月16日)



(8) 流出土砂の沈積せる川上温泉地内の下方 (5月16日)



(9の1)



(9の2)

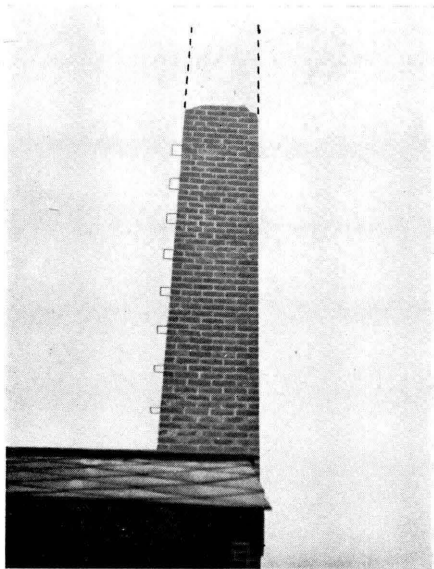
川上温泉地内沈積土砂流の末端 (5月16日)



(10) 川上温泉地内を襲つた初回の土砂流

昭和 13 年 福島縣 鹽屋崎沖地震被害寫眞
5 月 23 日

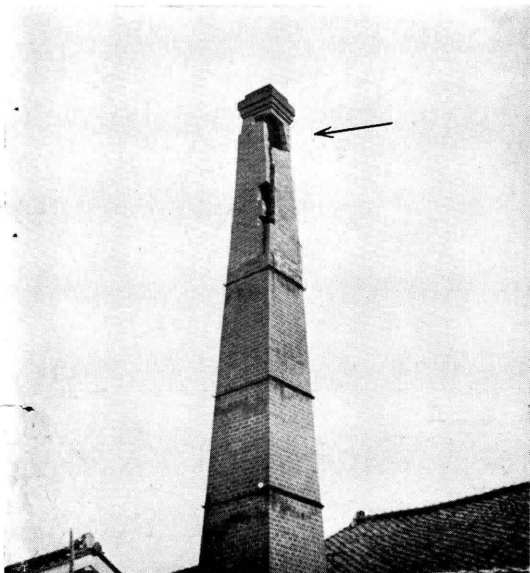
(1) 須賀川町に於ける煙突の被害
高さ 16 米, 基部 1.3 米角, 上部 3 米
位, 北直下へ落下 (南方より撮影)



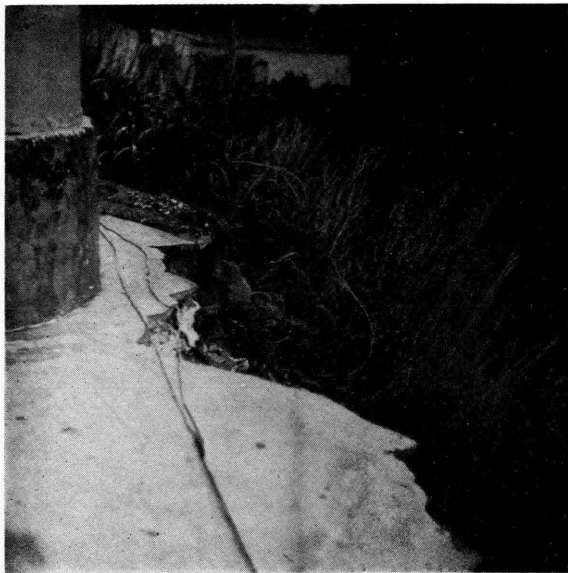
(3) 須賀川町農業倉庫の破損 (南西方より撮影)



(2) 須賀川町に於ける煙突の被害
高さ約 13 米, 基部 1.5 米角, 缺損部
分北直下へ落下 (北西方より撮影)



(4) 鹽屋崎燈臺外側塀の崩落



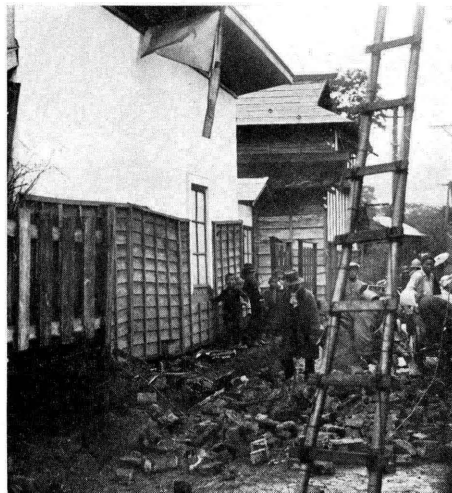
(竹花, 副田報告附圖)

昭和13年
5月23日 福島縣鹽屋崎沖地震被害寫眞

猪苗代町新町の煙突眞南へ落下屋根を破損す



猪苗代町本町の煙突，煉瓦片となりて北方へ落下



(福島測候所會津出張所報告附圖)

高玉鑛山に於ける堆積層崩壊 (南方より撮影)



高玉鑛山に於ける堆積層崩壊口及び道路の一部 (前面より撮影)



(福島測候所 柳谷、高木報告附圖)